

クラス通信

麻生本校・円山校

クラスユニック小学部

令和6年5月号

2024.5.14発行

保護者の皆様、お子様と一緒にご覧下さい

副理事長・校医

福島 拓

クラス通信 5月号をお届け致します。4月からスタートした新学年として初めての連休でしたがご家族での旅行等もあったのではないのでしょうか。ここ札幌もようやく春めいて、北海道の常ですが、まずはクロッカスや紫のエゾヤマザクラに始まり、梅、米桜、チューリップ、水仙、桜など種々の植物が色とりどり一斉に咲き誇っています。小学生の子ども達にとっても通学が一番心地よい季節です。高学年はそろそろ、夏に向けて学習計画をたて、特に中学受験を検討されているご家庭は、今月から各中学の学校説明会が始まりますのでいろいろな機会に出向いてご検討下さい。各中学校の特色をそれぞれの入試担当者が説明する良い機会です。説明会へのお申込み等は各中学校のホームページをご参照下さい。

また、6月は早々に**全国統一小学生テスト**が今年も開催されます。もはや全国的な恒例行事となったテストですが、問題はよく考えられています。ただし、全国を基準にしていますので、とにかく文章量が多いテストです。あくまでチャレンジするテストと割り切って受験して下さい。

新学年となって1ヶ月半、学校での授業も当校においての学習も大分慣れてきたことでしょう。

前月に引き続いて、ここで改めて新年度の指導方針や指導内容について掲載致します。

1年・2年・3年生の教材と指導内容

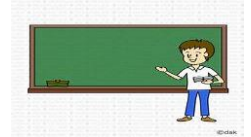


- 1年生から3年生までは「ウインパス」の教材を使っています。この教材の特色は、算数にしても国語にしても、学校で習う主要な項目をすべて網羅していることです。
この項目を1回の指導時間で1項目から2項目進めます。進めた分を家で復習してもらうための「ウインパス」準拠ワークがありますのでこれを宿題として出しています。
- 3年生までの学習は、中学受験を意識したいいわゆる「早く、早く」というペースよりあくまでも本人が理解をして、「分かった」ということを確認しながら進めています。
国語であれば、自分で「内容を読み取れるように」ということを主眼に、いろいろなスタイルの文章、「説明文」「物語文」「詩」の読解力をスパイラルな形で行っています。特に知識的分野（語句・漢字・言葉のきまり）の習得は毎回の積み重ねの中で行っていきます。
- 算数も項目ごとの考え方、計算の仕方を身に付けさせながら特に「計算力」については練習量によってスピードと正確さを習得する必要があります。当校学習時間の中でも勿論計算力要請を行っていきませんが、練習量的にご家庭での宿題を通して身に付けて行って欲しいところです。
今、世の中は計算機器や携帯の計算画面などにより計算力がなくても何とかなる時代にますますなっているように思えますが、まずはこの小 1～3年生時代に自らの「計算力」・「暗算力」・「数字的取り扱い」の養成がなくてこれら便利な機器を本当の意味の実践で使いこなすことはできないものです。

<裏面に続く>

4年・5年・6年生の教材「四谷大塚」の内容・指導

当校が四谷大塚の教材を使用しているのは、使い方によって、受験の有無や各生徒のレベル、各教科の得意不得意に合わせ、最大限の効果が期待できるテキストだからです。



以下に学年ごとの内容と特徴、注意点を挙げましたので参考にしてください。

【小学6年生】

四谷大塚のカリキュラムで小5まで学んできた生徒にとっては、6年生は**総復習と弱点を克服する期間**となります。首都圏の超難関校を目指す場合は、更に受験型学習が必要ですが、北嶺を含む道内の中学受験であれば「四科のまとめ」といった難問奇問の比較的少ないテキストの演習を繰り返すことがとても重要です。

志望校や教科ごとの完成度によって、重点的に取り組むべきテキストや単元は異なります。定期的な面談(二者・三者)や日々の指導の中で、指示やチェックをして、一人一人の目標達成に向けて伴走してまいります。

【小学5年生】

四谷大塚の「予習シリーズ」は、小5の下巻までで、**小学内容を網羅**できるように作られています。従って、中学受験を目指す皆さんは、このペースで2年間学んできた場合は残りの1年間を弱点補強や志望校対策などに使えることになります。

手元のテキストについては、すべての問題が解けていないと不安になってしまうものですが、このテキストの場合は算数であれば「**類題**」および「**基本問題**」がきちんと解けるようになれば、道内の中学受験レベルには十分な力がつくと考えています。「**練習問題**」はかなりの応用力を必要としますので、このレベルが手につかなくても気にする必要はありません。(授業でも扱うことはほぼありません。)得意分野に限り、難問で差をつけたいと思う場合チャレンジしてみる問題という程度に考えて結構です。月例テストや週テストを受けている人は、このレベルの出題もありますが、あまり気にする必要はありません。満点をとるべきテストとは考えなくて良いでしょう。

【小学4年生】

4年生も「予習シリーズ」を中心に学習しますが、小学生が受験に向けて学習を始めるのは4年生からということが多いようです。それまでの学校の進捗や内容に比べ、当然進捗の速さ、学習内容の深さ、問題の量などこれまでとは大きく異なる学習となります。それだけに、まずは日々の**家庭学習時間の確保**が必要です。5年生同様、「**基本問題**」レベルまでで十分なのですが、それでも負担が大きくなります。まずは算数国語に絞って、集中力、体力を養って下さい。理科社会は道内受験においては5年生スタートでも十分間に合います。従ってクラスでも2教科に絞った指導を行っております。

全ての学年において、生徒・ご家族のご希望や現状の力量等を常に考えながら指導をしてまいります。

末筆ですが、学習内容や使用教材、各種検定について、ご質問・ご要望などありましたらお気軽にお声掛けいただければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。(西野 丞)

麻生校:001-0037 札幌市北区北 37 条西 3 丁目 3-15 ☎011-716-7162

円山校:064-0820 札幌市中央区大通西 23 丁目 1-1 ☎011-613-7755

麻生本校 小中学部



円山校 小学部



5月、6月予定の詳細はQRコードからホームページでご覧下さい。